

# 平成30年度北部地区安全管理推進大会及び 第2回伊江地区安全衛生管理推進大会が 開催されました

平成30年度の北部地区安全管理推進大会（共催：（一社）沖縄県労働基準協会北部支部，建設業労働災害防止協会沖縄県支部北部分会，沖縄県産業保健総合支援センター）が平成30年6月1日に北部会館において，また，第2回伊江地区安全衛生管理推進大会（共催：（一社）沖縄県労働基準協会北部支部，伊江村建設業協会，沖縄県農業協同組合伊江支店，沖縄県産業保健総合支援センター）が平成30年6月19日に沖縄県農業協同組合伊江支店2階ホールにおいて，それぞれ開催されました。

北部地区安全管理推進大会は，安全意識の高揚と安全活動の定着を図ることを目的に，全国安全週間（7月1日から7日）の準備月間である6月中に毎年開催されているもので，今年度は各企業の代表者や安全担当者約110名が参加し，行われました。



—平成30年度北部地区安全管理推進大会の様子—



—第2回伊江地区安全衛生管理推進大会の様子—  
行われました。

大会では，最初に，労働災害で亡くなられた労働者の冥福を祈り，1分間の黙とうが捧げられました。

主催者からは，「近年，労働災害が増加傾向にあるが，労使が一体となってより一層努力し，災害を減らしていく」という呼び掛けが行われ，当署の安慶

また，伊江地区安全衛生管理推進大会は，伊江島，伊是名島，伊平屋島における安全衛生に係る意識の高揚と安全衛生活動の定着を図ることを目的に，平成26年度から伊平屋島，伊是名島，伊江島の持ち回りで開催しているものであり，今年度が伊江島における第2回目の開催となり，企業の代表者や安全担当者約30名が参加し，

名署長からは、「平成29年の名護署管内での労働災害は前年比約44.3%増の101件と大幅な増加となっており、また、今年に入ってから4月速報値で昨年と比較して倍増の24件の休業4日以上の労働災害が発生するなど、憂慮すべき状況にある。中でも、建設業においては、昨年の9月以降の9か月間で名護署管内で4件の死亡災害が発生するなど、緊急事態ともいうべき状況である。このような事態から、署として「労働災害防止対策の取組について(要請)」をさせていただき、各企業の皆様には1件の労働災害も発生させないという意気込みで労働災害防止対策に取り組んでいただくとともに、行政としても各種施策を展開して参りたい」と呼び掛けました。そして、当署の安全担当者からは、パワーポイント資料を用いて、名護署管内で発生した死亡災害を含む災害事例と再発防止対策の説明を行いました。

また、特別講演として、北部地区安全管理推進大会においては「消防署職員から見た安全対策について」と題して、本部町・今帰仁村消防組合本部消防署長の澤岷博光氏から、消防署職員の立場から考える「安全」とは何かについての講演が行われました。なお、特別講演の中で、澤岷消防署長が持参された、労働災害で亡くなられた方のお孫さんからの手紙が発表され、関係者の心に響くものとなりました。

伊江地区安全衛生管理推進大会においては「安全衛生のノウハウを着実に伝えるには」と題して中央労働災害防止協会九州安全衛生サービスセンター副所長・安全管理士の土屋幸一氏から安全衛生に係るノウハウ(安全作業手順)の継承に係る留意点に関する講演が行われました。

大会終盤では、「経営トップの確固たる意思表明のほか、各労働者の安全作業の遵守など、労使が一体となった取組を行い、これまで漫然としていた取組を見直し、労働災害のない職場づくりにまい進する」とする大会宣言を採択し、その後参加者全員で、平成30年度全国安全週間スローガンの「指差呼称」を行い、今後さらなる安全活動を実施していくことを決意しました。



指差呼称の様子

左：平成30年度北部地区安全管理推進大会，右：第2回伊江地区安全衛生管理推進大会